



稲付中学校建物概要



Inatsuke Junior High School

「稲付」の輪を育む学校

整備方針

1. 成長への環

～生きる力が育ち、
健やかにはばたく学校づくり～

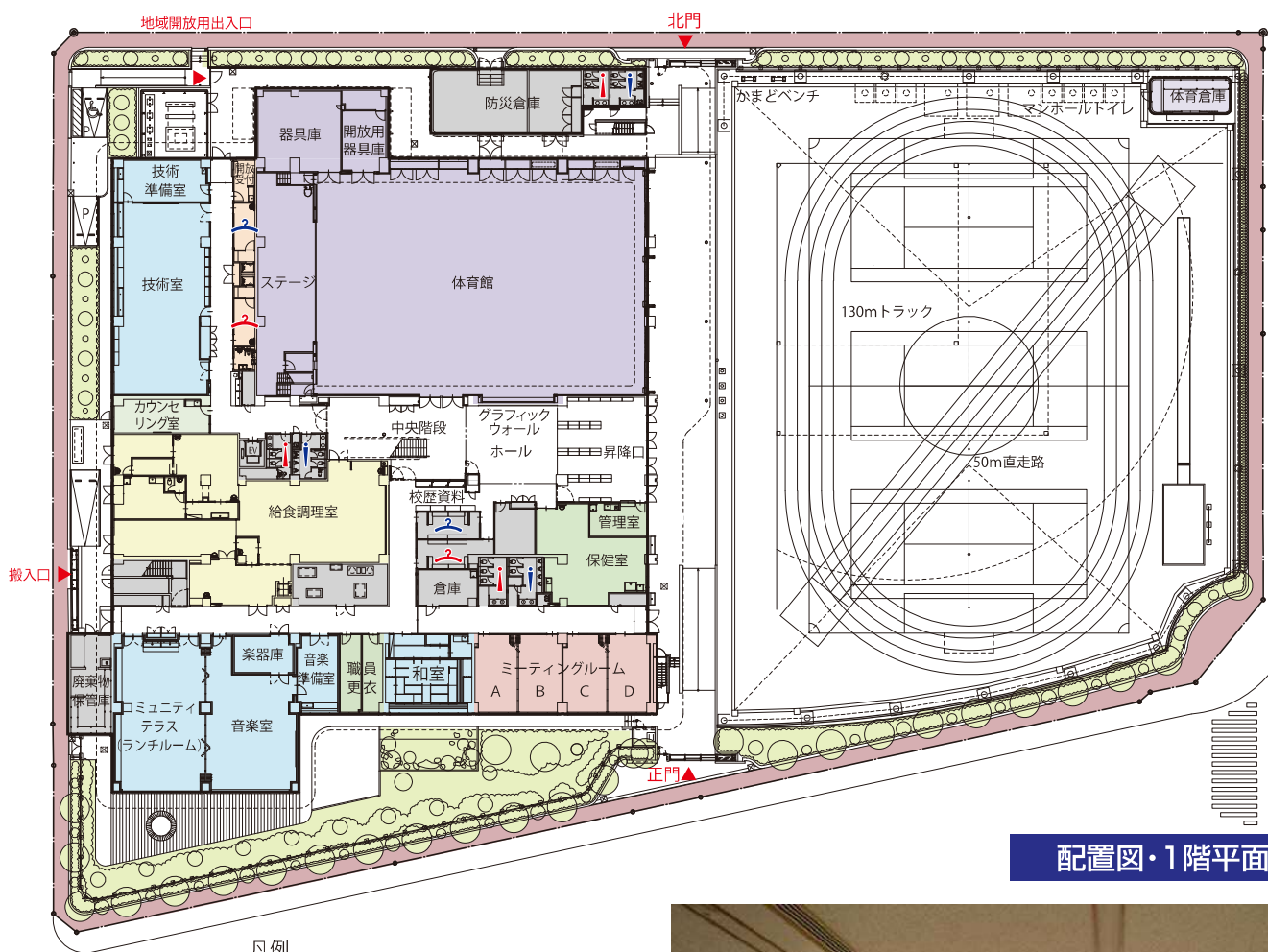
2. つながりの和

～人をつなぎ、想いをつなぐ、
豊かさあふれる学校づくり～

3. 地域との輪

～稲穂のように地域に
寄り添う学校づくり～

日本の代表的なスポーツ施設の集積地に位置する立地特性を活かして、
生徒はもとより、地域のスポーツ活動を促進し、交流の拠点となる施設を目指しました。



配置計画

西側に校舎を集約して配置することで、東側には明るく整形なグラウンドを確保しました。

正門と北門をつなぐピロティは、生徒の登下校動線としてだけでなく、その上部をデッキ状に整備することで、グラウンドの活動を観覧できる空間としています。

敷地周囲にはジョギングコースを整備し、地域のスポーツ活動の場となるような施設を目指しました。



音楽室+コミュニティテラス(ランチルーム)

隣接する音楽室とコミュニティテラスは、可動間仕切りを開けることで一体的な広い空間となり、行事等で利用できます。

躍動感あふれるスポーツデザイン

地域特性や学校の色を考慮し、スポーツを意識したデザインを各所に取り入れています。



ジョギングコース

敷地外周の歩道状空地は幅1.5m、1周約380mのジョギングコースとしても利用できます。



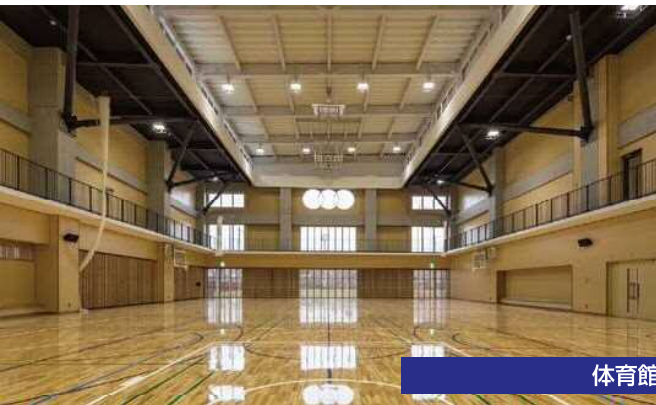
グラフィックウォール

1896年以降の近代オリンピック(夏季・冬季)の開催都市を示した地図をエントランスホール壁面にデザインしています。スポーツをきっかけに、地理や歴史等の学習へと興味をつなげていきます。



記録の壁

校舎中央の吹き抜け空間を利用し、スポーツの記録等をデザインした「記録の壁」を整備しました。世界のスポーツの記録の偉大さを体感できます。



体育館

東面の窓と南北の高窓から光が入る、明るい空間です。グラウンドと一体的に利用できる計画としており、災害時の避難所利用にも十分配慮した施設配置となっています。

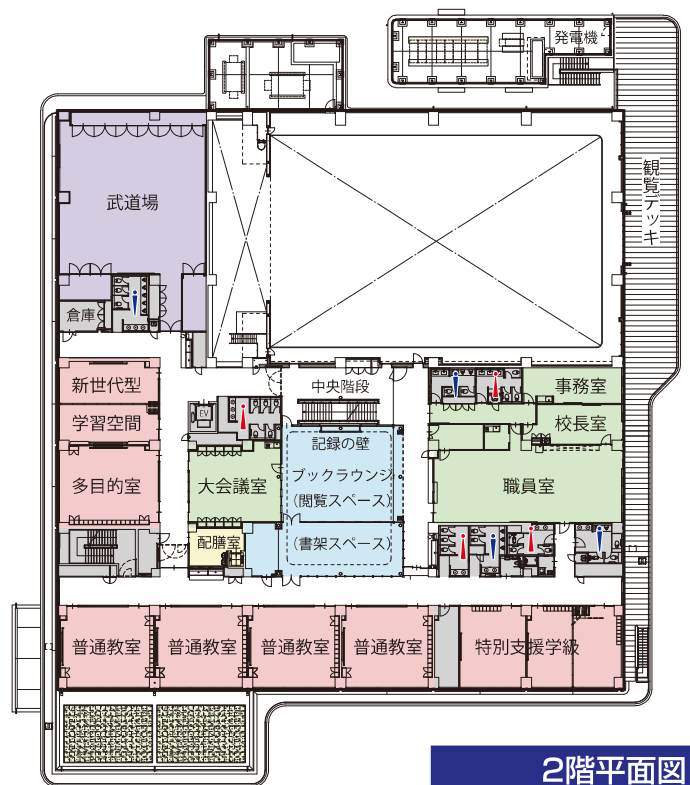


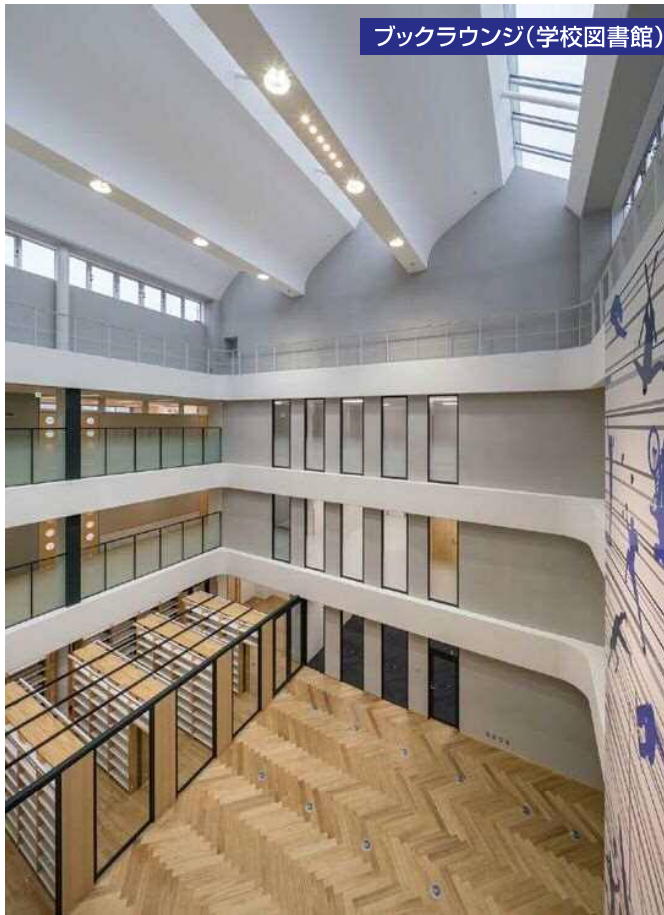
和室



庭園

本格的な和室と庭園で、日本伝統文化や四季に触れるきっかけをつくります。庭石は、旧校舎で池石として使われていたものを引き継いでいます。





ブックラウンジ(学校図書館)

吹き抜けを活かした明るくゆとりある空間となっており、読書活動だけでなく、交流やアクティブラーニング等多目的に使えるスペースです。北向きのトップライトと換気窓により自然採光・自然通風を確保し、空調は吹き抜け空間に適した効率的なシステムを採用しています。



普通教室

明るく開放的な南面に配置しています。教室内の掲示壁は、画紙と磁石の両方が使える素材を採用しています。



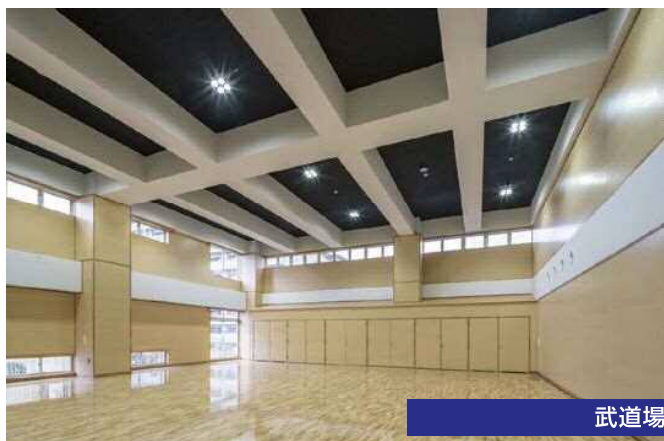
中央階段

昇降口から連続する生徒の主動線として、ブックラウンジと一体感のある開放的な空間としています。また、床は木材を採用することで、明るく温かみのある環境を整備しました。



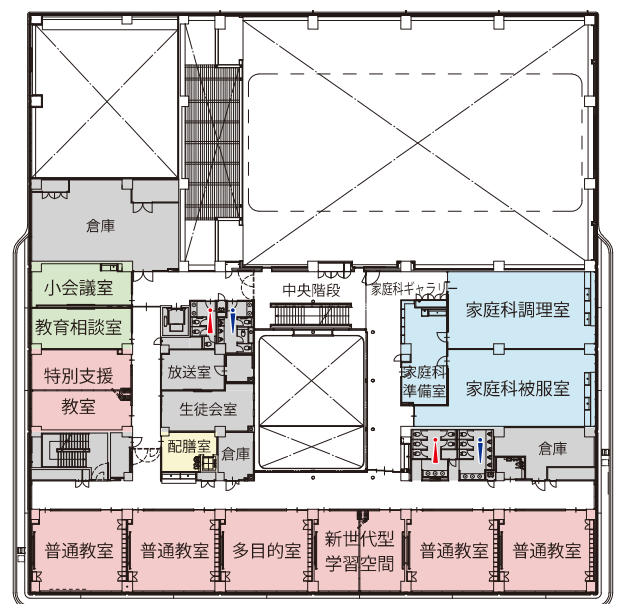
教科ギャラリー

廊下に面した教科ギャラリーは実験器具や作品等を展示することで、各教科への興味や学習意欲の促進につなげます。



武道場

柔道や剣道の他、多目的に使える空間となっています。



3階平面図



理科室

実験台は可動式テーブルを採用することで、様々な授業形態に対応できるよう配慮しました。連続する「理科テラス」は、生物の観察や屋外での作業空間として利用可能です。



プール

目隠し壁を設置し、周辺からの視線に配慮しました。プールの水は災害時の消防水利やマンホールトイレで活用します。



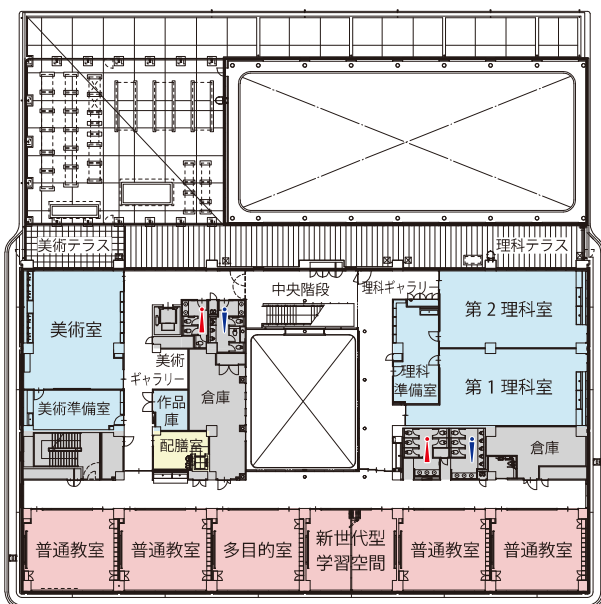
美術室

デッサン等の美術の授業に適した、安定した北側採光を確保する配置としています。連続する「美術テラス」はコンクリート製の床とし、屋外での作業空間として利用可能です。

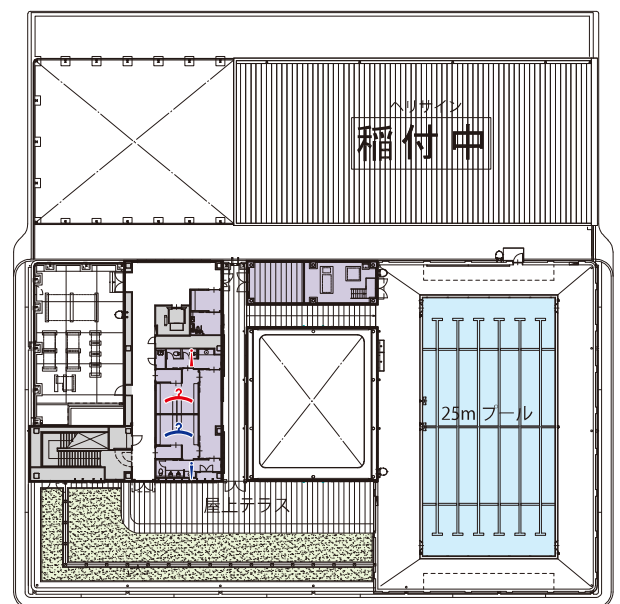


屋上テラス + 太陽光発電パネル

明るく、眺めが良い南側の屋上部分には、屋外活動の場となる屋上テラスを整備しました。太陽光発電パネルや屋上緑化を生徒の見える位置に配置することで、環境教育の場として期待できます。



4階平面図



5階平面図

